

職場決議

「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている。

「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、

「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、

武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看

護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび

白衣を戦場の血で汚（けが）さない」ことを合言

葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年

間、一貫して産列の最重要課題として位置づけて

運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を

守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤

回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年 9月11日

組織名【石手県医師会看護婦会】

施設名【 】

職場・所属【看護部会】 10名

【賛同者の名前やメッセージなど】

内藤 鈴子

長沢 仁望

中野 りみ子

豊島 知美

大瀬 裕子

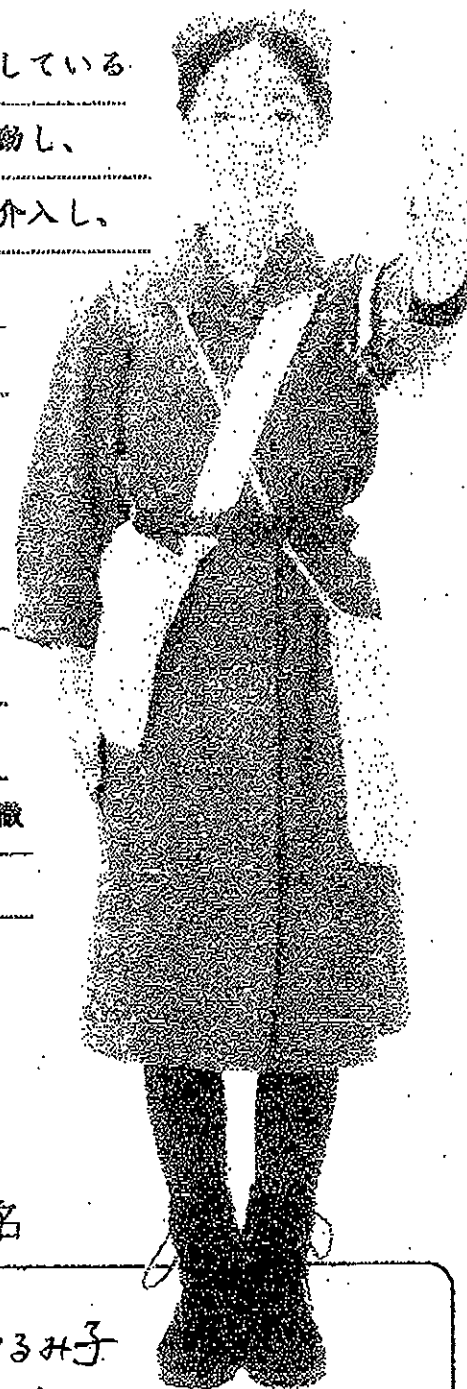
佐々木 千昭

千葉 紀美子

児玉 久子

山根 裕恵

北野 和子



職場決議 (案)

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して連年の最重要課題として位置づけて運動に取り組んできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年9月12日

組織名【 岩手県医療局労働組合 】

施設名【 女性部バスツアー参加者 】

職場・所属【 27名 】

【賛同者の名前やメッセージなど】

県医労女性部は「戦争法案」に

絶対反対です。子ども達に平和な未来を！



離場決議

「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている
「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、
「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、
武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚（けが）さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して差別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

1945年9月 日

組織名 【 蘇州醫院 第1部 】

施設名【

職場・所屬【 森標 】 9 名

【賛同者の名前やメッセージなど】

佐々木 美子 高橋 美代子 三浦 沙理菜
昆 美雪 松田 歌織 田村 佳代子 山本 新子
井手 雪絵 藤内 日厚子



職場決議

「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚（けが）さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

平成 27 年 9 月 日

組織名【 松本市医師会 】

施設名【 】

職場・所属【 病棟 】 11 名

【賛同者の名前やメッセージなど】

南川美佐子	佐々木登子	菊池美穂	
坂本友紀	及川正子	佐々木洋子	藤坂ゆき子
軽石みわ子	吉田美穂子	高橋安子	細田悦子

